



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月12日

上場会社名 株式会社 コモ

上場取引所 東

コード番号 2224 URL <http://www.como.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 克己

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 財務経理部長兼経営企画室長 (氏名) 平光 伸行

TEL 0568-73-7050

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	2,754	△3.3	77	△5.7	83	△2.9	50	△2.5
30年3月期第2四半期	2,846	3.7	82	△29.7	86	△25.3	51	△29.7

(注)包括利益 31年3月期第2四半期 51百万円 (△3.7%) 30年3月期第2四半期 52百万円 (△21.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	14.48	—
30年3月期第2四半期	14.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	4,594	1,265	27.5	364.26
30年3月期	4,683	1,239	26.5	356.57

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 1,265百万円 30年3月期 1,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,880	4.0	190	△6.0	200	△3.4	120	△7.9	34.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	3,630,000 株	30年3月期	3,630,000 株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	155,240 株	30年3月期	155,240 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	3,474,760 株	30年3月期2Q	3,474,760 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善に支えられ、緩やかながらも長期にわたって景気の拡大が継続しましたが、保護主義的政策による米中貿易摩擦を中心とした通商問題や、相次ぐ自然災害の被害が及ぼす経済面の影響は大きな懸念材料となっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、上昇が続くエネルギーコスト、原材料価格に加え、物流費用等の増加が収益圧迫要因となる一方、家計の根強い節約志向から個人消費が低迷するなかで価格競争も激しく、厳しい経営環境となりました。

こうしたなか、当社グループはパネトーネ種の特長を活かした新製品の開発並びに品質の改良、新たな販路の開拓に努めました。新製品としましては、京都・佐々木酒造の米麴ピューレを使用した「甘酒小町」、ホワイトチョコレートをコーティングした冬季限定製品「メープルショコラータ」を発売しました。

売上高につきましては、自動販売機オペレーターや、大手総合スーパー向けPB製品の導入により量販店において堅調に推移しましたが、コンビニエンスストア向けの一部PB製品が昨年11月に終了した影響から、前第2四半期連結累計期間実績を下回る結果となりました。

利益面につきましては、生産性の向上、経費の削減に注力してきましたが、売上高の減少に加え、配送費の大幅な値上がり等の影響から、前第2四半期連結累計期間実績を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は27億5千4百万円(前年同期比3.3%減)、営業利益7千7百万円(前年同期比5.7%減)、経常利益8千3百万円(前年同期比2.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益5千万円(前年同期比2.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の内容

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8千9百万円減少し、45億9千4百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少(6千6百万円)、受取手形及び売掛金の減少(5千6百万円)、電子記録債権の増加(1千1百万円)、原材料及び貯蔵品の増加(1千1百万円)、リース資産の増加(1千万円)などによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1億1千5百万円減少し、33億2千9百万円となりました。これは主に長期借入金の減少(6千3百万円)、未払金の減少(2千6百万円)、買掛金の減少(2千4百万円)などによるものであります。

なお、純資産は、前連結会計年度末に比べ2千6百万円増加し、12億6千5百万円となり、自己資本比率は27.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ6千6百万円減少(前連結会計年度末比11.9%減)し、当第2四半期連結会計期間末には4億9千1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1億9千5百万円(前年同期比48.7%減)となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益(8千3百万円)、減価償却費(1億4千7百万円)、仕入債務の減少額(2千4百万円)、たな卸資産の増加額(1千6百万円)などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億3千万円(前年同期比5.6%減)となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出(1億1千4百万円)、無形固定資産の取得による支出(9百万円)などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億3千1百万円(前年同期比49.5%増)となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出(1億1千9百万円)、リース債務の返済による支出(3千7百万円)、配当金の支払額(2千4百万円)、短期借入金の純増加額(5千万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績を勘案し、平成30年5月14日に公表いたしました平成31年3月期(平成30年4月1日～平成31年3月31日)の業績予想を修正いたしました。詳細は、平成30年11月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	557,803	491,356
受取手形及び売掛金	870,965	814,488
電子記録債権	59,587	71,337
商品及び製品	39,753	43,580
仕掛品	7,509	8,997
原材料及び貯蔵品	76,458	87,822
その他	28,100	23,321
貸倒引当金	△132	△127
流動資産合計	1,640,047	1,540,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	538,163	518,635
機械装置及び運搬具(純額)	547,126	556,021
土地	1,187,049	1,187,049
リース資産(純額)	207,711	218,321
その他(純額)	30,646	40,176
有形固定資産合計	2,510,696	2,520,203
無形固定資産	53,021	52,007
投資その他の資産		
投資有価証券	160,746	161,748
繰延税金資産	76,438	73,302
その他(純額)	242,824	246,902
貸倒引当金	—	△206
投資その他の資産合計	480,010	481,747
固定資産合計	3,043,728	3,053,959
資産合計	4,683,775	4,594,737

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	448,192	424,099
短期借入金	1,517,516	1,511,118
リース債務	68,076	70,269
未払金	329,500	302,717
未払法人税等	34,210	33,336
賞与引当金	62,168	62,250
その他	181,644	173,692
流動負債合計	2,641,309	2,577,484
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	430,000	366,400
リース債務	164,162	173,963
役員退職慰労引当金	69,315	74,940
退職給付に係る負債	36,296	33,698
その他	3,687	2,547
固定負債合計	803,461	751,549
負債合計	3,444,770	3,329,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	222,000	222,000
資本剰余金	134,400	134,400
利益剰余金	3,120,093	3,146,096
自己株式	△305,763	△305,763
株主資本合計	3,170,730	3,196,733
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	931	1,627
土地再評価差額金	△1,932,656	△1,932,656
その他の包括利益累計額合計	△1,931,725	△1,931,029
純資産合計	1,239,005	1,265,703
負債純資産合計	4,683,775	4,594,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	2,846,870	2,754,327
売上原価	1,874,188	1,773,520
売上総利益	972,681	980,806
販売費及び一般管理費	890,186	903,028
営業利益	82,495	77,778
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	1,626	2,126
受取家賃	8,158	8,765
助成金収入	600	2,380
その他	4,267	3,633
営業外収益合計	14,654	16,907
営業外費用		
支払利息	8,414	8,053
その他	2,440	2,877
営業外費用合計	10,855	10,930
経常利益	86,294	83,754
特別利益		
固定資産売却益	199	—
特別利益合計	199	—
特別損失		
固定資産除却損	1,638	693
特別損失合計	1,638	693
税金等調整前四半期純利益	84,855	83,061
法人税、住民税及び事業税	29,280	29,905
法人税等調整額	3,961	2,829
法人税等合計	33,242	32,734
四半期純利益	51,613	50,326
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,613	50,326

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	51,613	50,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,366	695
その他の包括利益合計	1,366	695
四半期包括利益	52,979	51,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,979	51,021

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	84,855	83,061
減価償却費	138,916	147,116
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△33	201
賞与引当金の増減額 (△は減少)	526	82
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,606	5,625
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,894	△2,598
受取利息及び受取配当金	△1,628	△2,128
支払利息	8,414	8,053
有形固定資産売却損益 (△は益)	△199	—
有形固定資産除却損	1,638	693
売上債権の増減額 (△は増加)	△55,613	44,726
たな卸資産の増減額 (△は増加)	23,130	△16,679
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	3,697	4,664
仕入債務の増減額 (△は減少)	157,334	△24,092
未払消費税等の増減額 (△は減少)	19,075	△1,012
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	52,304	△22,489
その他	△2,885	△536
小計	432,246	224,688
利息及び配当金の受取額	1,628	2,128
利息の支払額	△8,238	△7,935
法人税等の支払額	△44,235	△23,341
営業活動によるキャッシュ・フロー	381,400	195,539
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△117,862	△114,849
無形固定資産の取得による支出	△14,386	△9,458
その他	△5,964	△6,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,214	△130,472
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△129,165	△119,998
配当金の支払額	△24,304	△24,277
リース債務の返済による支出	△34,486	△37,239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,956	△131,514
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	155,229	△66,447
現金及び現金同等物の期首残高	241,109	557,803
現金及び現金同等物の四半期末残高	396,338	491,356

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。